

日本言語政策学会第12回大会

予稿集

2010年6月19日・20日

於 関西大学

日本言語政策学会

日本言語政策学会第12回大会

大会テーマ：「多文化・多言語社会の到来 —多言語教育の回避?」—「国家戦略としての言語政策を考える(2)」

—

日時：2010年6月19日(土) 13:00-17:30

6月20日(日) 10:00-17:00

会場：関西大学千里山キャンパス (大阪府吹田市)

参加費：会員無料、非会員 3000円(非会員の大学院生 1500円)、予稿集代 500円

6月19日(土)

12:00~ 受付開始

【尚文館1階 マルチメディア大教室】

総合司会 日本言語政策学会副会長 杉谷眞佐子

13:00~13:15 開会の辞 田中慎也(日本言語政策学会会長)

会場校挨拶 市原靖久(関西大学副学長)

13:15~14:15 基調講演

「CEFRにおける新しい能力概念—ヨーロッパ及び世界での言語行動力育成を目指して—
ドイツ-NRWの外国語教育政策」

講演者 Henny Rönneper (ヘニー・レネパー)

(ドイツ、ノルトライン・ヴェストファーレン州(NRW)文部省 外国語教育担当官)

司会 河原俊昭(京都光華女子大学)

通訳 桂木忍(関西学院千里国際高等部)

14:30~17:30 シンポジウム(1)

「『複言語主義教育』とその政策—日本における展望」

パネリスト 森住 衛(英語、桜美林大学、大学英語教育学会前会長)

山崎吉朗(フランス語、財団法人 日本私学教育研究所)

山崎直樹(中国語、関西大学)

文部科学省関係者(予定)

レスポンドント 任喜久子(イム・ヒグジャ)(韓国朝鮮語、英語、大阪府立阪南高等学校)

Henny Rönneper 通訳 テーヤ・オストハイダ(関西学院大学)

司会・コメント 橋内 武(英語、桃山学院大学)、杉谷 眞佐子(ドイツ語、関西大学)
18:00～19:30 懇親会 レストラン「チルコロ」(新関西大学会館南棟 4階) 会費 3,500円

6月20日(日)

9:00～ 受付

【岩崎記念館2～4階】

10:00～12:00 一般発表

【CALL教室1】

司会 杉野俊子(防衛大学校)

(1)言語政策課題としての情報保障—援助論からみた「LL 本」運動—

かどやひでのり(津山高専)

(2)日本の観光政策における言語の位置付けについて

山川和彦(麗澤大学)

(3)人名の表記をめぐる

渡邊則子(ニューヨーク市立バルーク大学)

(4)「英語力の国際比較」言説の計量社会学的検討

寺沢拓敬(東京大学大学院生)

【CALL教室2】

司会 矢頭典枝(神田外語大学)

(1)言語政策における「領域性の原理」の優位性について:

ベルギーのフランデレンを事例に

石部尚登(東京外国語大学グローバルCOE研究員)

(2)政権交代に伴う公立学校における少数言語教育の混乱

—スペイン・ガリシア自治州における聞き取り調査から—

柿原武史(大分大学)

(3)チェンマイにおける仏英独日中の対外言語普及について

山口雅代(大阪府立大学・非常勤)

【多目的ホール1】

司会 松田陽子(兵庫県立大学)

(1)外国人市民への情報提供システムの構築:大阪府八尾市の例から

河原俊昭(京都光華女子大学)

(2)「日本語」のもう一つの自画像—「地域日本語活動」の実態とその課題—

許之威(京都大学大学院)

(3)減災のための「やさしい日本語」の特徴と「やさしい日本語」作成支援システム
開発

水野義道(京都工芸繊維大学) 御園生保子(東京農工大学)

前田理佳子(大東文化大学) 鹿嶋彰(弘前大学) 伊藤彰則(東北大学)

米田正人（前国立国語研究所） 佐藤和之（弘前大学）

【多目的ホール2】

パネル発表 「子どものことばの力を考慮に入れた言語教育政策提言のための基礎研究
ー日本語母語児童と非母語話者児童の日本語力・母語力の評価テスト<中間報告>
真嶋潤子(大阪大学) 友沢昭江(桃山学院大学) 大阪府内公立小学校
教諭 朴錦花(大阪大学大学院生)

【岩崎記念館 1階ホール】

ポスター発表 漢字圏出身者向けの言語サービスとしての新たな「やさしい日本語」
ー漢字で表記される語彙に注目した試案ー
ウー・ワイシェン(大阪大学大学院生)

12:00～13:00 休憩(昼食)

【尚文館1階 マルチメディア大教室】

13:00～13:30 総会

13:30～14:30 基調講演

「外国人の定住と言語教育ー年少者教育を中心に」
講演者 山田 泉(法政大学)
司会 真嶋潤子(大阪大学)

14:30～17:00 シンポジウム(2)

「外国人の定住と年少者の言語教育政策」
パネリスト 小島祥美 (愛知淑徳大学)
ヴィヴィアン・ブッシンゲル・カバリ(神戸大学大学院協力研究員)
安野勝美(大阪府教育センター教育企画部 人権教育研究室
主任指導主事)
レスポデント 山田 泉 (法政大学)
司会・コメント 真嶋潤子 (大阪大学) 友沢昭江 (桃山学院大学)

17:05～閉会の辞 橘 好碩(國學院大学、日本言語政策学会副会長)

目次

大会プログラム	1
【一般発表・ポスター発表】	
言語政策課題としての情報保障—援助論からみた「LL 本」運動—	8
日本の観光政策における言語の位置付けについて	11
人名の表記をめぐって	14
「英語力の国際比較」言説の計量社会的検討	17
言語政策における「領域性の原理」の優位性について： ベルギーのフランデレンを事例に	20
政権交代に伴う公立学校における少数言語教育の混乱 —スペイン・ガリシア自治州における聞き取り調査から—	23
チェンマイにおける仏英独対日中の外言語普及について	26
外国人市民への情報提供システムの構築：大阪府八尾市の例から	29
「日本語」のもう一つの自画像—「地域日本語活動」の実態とその課題—	32
減災のための「やさしい日本語」の特徴と 「やさしい日本語」作成支援システム開発	35
漢字圏出身者向けの言語サービスとしての新たな「やさしい日本語」 —漢字で表記される語彙に注目した試案—	38

【パネル発表】

- 「子どものことばの力を考慮に入れた言語教育政策提言のための基礎研究
ー日本語母語児童と非母語話者児童の日本語力・母語力の評価テストー
＜中間報告＞ 42

【講演】

基調講演

- 「CEFRにおける新しい能力概念ーヨーロッパ及び世界での言語行動力育成
を目指してードイツ、NRWの外国語教育政策」 47

Henny Rönneper (ヘニー・レネパー)

(ドイツ、ノルトライン・ヴェストファーレン州(NRW)文部省 外国語教育担当官)

- 「外国人の定住と言語教育ー年少者教育を中心に」 49

山田 泉(法政大学)

【シンポジウム】

「『複言語主義教育』とその政策ー日本における展望」

- 複言語主義の教育政策ー英語教育の立場から 55

森住 衛 (英語、桜美林大学、大学英語教育学会前会長)

- 中等教育における複言語教育の現状と展望 57

山崎 吉朗(フランス語、財団法人 日本私学教育研究所)

- 『高等学校の中国語と韓国朝鮮語:学習のめやす』 60

山崎 直樹(中国語、関西大学)

「外国人の定住と年少者の言語教育政策」

不就学と言語教育 65
小島祥美 (愛知淑徳大学)

母語維持と日本語学習
-在日ブラジル人児童への調査からの提言-. 68
ヴィヴィアン・ブッシンゲル・カバリ(神戸大学大学院協力研究員)

大阪の外国人児童生徒への教育の取り組みーこれまでとこれからー . . . 72
安野勝美(大阪府教育センター教育企画部 人権教育研究室 主任指導主事)